

協議スル旨ヲ述ヘ引揚ケタリ

一 経過

被解雇者側

一 従業員中前記ノ通寄附金ニ集合セルモノ、内自己カ解雇セ
 ラレタルヤ否ヲ知ラサル者之會合セルカ 應協議ニ参加セ
 ルニ取定シ正否ヲ確ムルヘク午後取交セ
 先是従業員同盟員ハ本會議ノ指導者タリシ関係関係之助
 及借家組合中田惣壽等ニ急報セタルニヨリ 急遽本議團本部
 ニ集合シ之カ對策ニ付協議シ中田ハ労働党本部ノ應援ヲ求
 ムヘク且ワ関係組合ニ飛檄シテ本會議ノ擴大化ヲ計リワ、
 アリテ別記山ノ如ク本議日報ヲ發行セリ
 四 社員聯盟加入者ハ退職手當額ニ於テ職工ト火差アリ且ワ職
 工ハ米拂給料ニ對シ曩ニ會社ヨリ提示セル支拂案ヲ一應承
 認セル関係上之カ解決ニ付テハ考慮ヲ要スヘキ点アルニヨ

リ種々對策講究中ナルカ前叙ノ如ク會社ニ對シ代表ヲシテ
 解雇及對ノ旨ヲ述ヘタルニモ勿論採用セラレヘク又アラサル
 ニヨリ今後結束シテ米拂給料及退職手當ヲ六月中ニ支給セ
 ラレタシトノ交渉ヲナス意圖ニモテ明日中ニ別ニ本部ヲ設
 クル豫定ナルカ時機ニヨリテハ従業員同盟ト合流シ交渉ス
 ヘク硬軟両様ノ作戦中ナリ

ハ 會社側

會社ニ於テハ今回ノ解雇者ニ對シテハ財政ニ許ス範圍ニ於
 テ優遇ノ方針ニシ之カ支給金ニ付引續キ金策中ナルカ大体
 内規ニヨリ給與スル標準ハ
 一 社員ニシテ一年以上三年未満ノ勤績者ニ對シテハ規給ノ
 月數ニ加ヘタルモノ
 二 三年以上六年未満ハ右金額ニ一割加ヘタルモノ
 三 六年以上九年未満ハ前項ニ二割ヲ加ヘタルモノ